

「迷い鳩」産卵～巣立ちの記録（１）

篠崎 辰夫

以前から鳩がベランダにやってきてあちこちにフンをしていくので困っていた。その都度追い払い、いろいろ鳩除けグッズも試してみたが、鳩はなかなかしぶとくいたちごっこが続いていた。

その中に、両足にタグの付いた鳩が頻繁に来るようになった。レース鳩が迷い込んだようだ。ネットで調べて「日本鳩レース協会」にメールで相談したところ「鳩の写真からすると愛知県の会員の鳩のようです。会員の鳩がご迷惑をおかけして誠に恐縮です。捕獲が可能であれば、お近くの交番等にお持ちいただければ保護していただけますが、鳩がベランダに来ないようにしていただくのがよろしいかと思います」というそっけないもの。可哀そうなので、糞をする場所を作ってやり、しばらく様子を見ることにした。しかし、これが後々大変なことに発展する。



この鳩は、レース鳩だけあって他の鳩とどこか雰囲気が違う。毎日夕方、同じ場所に来て、朝早く飛び立っていく。糞をしていくだけでほかに悪さをするわけでもない。規則正しい。慣れたのか近づいても逃げないので、だんだんこの鳩が愛おしくなってしまった。鳩の糞には病原菌が付いていることがあるということで、慎重に始末しているが、糞の始末が日課になってしまった。

１年程して、この鳩がばったり来なくなった。どうしたのか心配になったが、反面糞の始末がなくなりやれやれと思っていた。ところがその後、昼間時々顔を出すようになった。

ある日、２匹で来てイチャイチャしている。どうもカップルになったようだ。夜こなくなったのは、どこかで仲良くしていたのかも知れない。

４月に入ったある日、この２匹の動きが何かいつもと違う。ベランダの手すりから降りてうろうろ慌ただしい。その都度追い払っていたが、ちょっと油断したすきに、植木鉢の中に卵がひとつ転がっていた。びっくり仰天。えらいことになった。



どうしたらいいか、ネットで調べたところ、鳩は「鳥獣保護法」で保護されている動物なので、勝手に巣や卵、ヒナを撤去することはできない。移動だけでもNGとのこと。雛が巣立つまで見守るか、ハト対策の専門業者に依頼して撤去してもらうか、個人で駆除をする場合は自治体に申請するか、とのこと。

仕方がないので、今回は雛が巣立つまでじっと見守ることとした。この後しっかり鳩除けをしようと思う。

<産卵、巣立ちの記録>

1. 4月8日 産卵：鳩が植木鉢の中に入っていたので、追い払ったら、卵が転がっていた。真っ白で大きさはうずらほど。当初1個だったが、翌々日2個に増えていた。ネットで鳩の生態を調べると・・・通常3日のうちに2個の卵を産む、18日間抱卵して孵化、40～50日で巣立ち。動物のなかでもこの成長速度はトップクラス、とのこと。



2. 抱卵：交代で抱卵しているが、長時間ずっと温め続けている。その間、まったく飲まず食わず。近づいても逃げない。こちらをじっと見ながら必死に卵を守り温め続けている。この姿を見ると、いじらしく無事巣立ちするよう願わずにはいられない。



3. 巣作りが本格化。2匹でせっせと小枝や藁、枯葉などを運んでいる。

口先で器用に巣を作っている



今、世の中は「新型コロナウイルス」との戦いの真っ只中。外出自粛のこの時期、必死に2匹で協力して子育てに励む様子に、日々癒されています。

(2020/04/25)

次号に続く